

令和7年7月3日(木)・4日(金)の2日間、広島市立宇品中学校の生徒3人が、職場体験として広島港湾振興事務所に来られました。

職場体験について

日時：令和7年7月3日(木)～4日(金) 9:00～16:00

体験者：広島市立宇品中学校 3学年 3人

宇品中学校の職場体験は、第3学年の総合学習として地域の職場を訪問し、そこで働く人たちの姿を通じて、仕事についての理解を深めるとともに、将来の生活への視野を拡大することなどを目的に行われており、広島港湾振興事務所へは、3人の生徒が職場体験に来られました。

早い梅雨明けで、暑い天候でしたが無事体験してもらうことができました。

なお、職場体験の実施にあたり現場で協力いただいた㈱ひろしま港湾管理センター、川田・横河・三井住友建設鉄構JVの方々には大変お世話になりました。

職場体験の様子

座学「港湾の概要」、 「クルーズ船の対応」

港湾の持ついろいろな役割や機能、注目の海外からのクルーズ船対応について、職員から説明を受けました。



ドローン操作体験

ドローン操作のルールを学び、会議室内でドローンの操作を体験しました。講師は宇品中の先輩でした。



広島港国際CT

運営会社から、コンテナターミナル(CT)の役割やその機能について、説明を受けました。



防波堤工事(似島)

波浪から船舶や街を守る防波堤整備の説明を受けた後、公用船から似島町の工事現場を見学しました。



広島はつかいち大橋 工事現場見学

橋が出来上がるまでの説明を受けたのち、まっすぐに伸びる新しい橋桁の現場を見学しました。「ラーメン橋」って何か分かったでしょうか。



職場インタビュー

生徒から廣中所長へインタビューを行いました。今回の体験をこれからの学校生活に役立てていただけたらと思います。2日間お疲れ様でした。



宇品中学校の皆様へ

よろしければ、来年も広島港湾振興事務所へお越しください。

出島2丁目の事務所(旧広島国際フェリーポート)でお待ちしています。